



東京キワニスクラブ会長の抱負

東京キワニスクラブ会長 吉田浩二



1月9日の新年互礼会には100名を超える会員、ご家族の方にお集まりいただき大変ありがとうございました。東京キワニスクラブの未年新年の良いスタートが切れたと思います。

今年は、キワニスにとって100周年の記念すべき年です。1月1日にカリフォルニア州パサディナ市で



開催された大学フットボールの最高峰ローズボールを記念するローズパレードでは、100周年記念の大きなフロートを作って幹部たちが山車に乗り、盛んに

アピールをして、このお祝いの年のスタートが華々しく切られました。1月24日には最初にキワニスクラブが出来たデトロイトでお祝いの式典が行われるとともに国際キワニスの評議員会が開催されました。また、来る3月5、6、7日にはフィリピンのクラークフィールドでASPACの年次総会が開催されます。そして6月25日から28日まで本部があるアメリカのインディアナポリスで100周年を祝う年次総会が開催される予定です。この間、ジョンバットン会長には15の地区を回られ、それぞれの地区の100周年を盛り上げる予定になっております。残念ながら日本地区には立ち寄られませんが、フィリピン、台湾、マレーシアには訪問予定となっております。

日本地区は昨年東京クラブの50周年の盛大なお祝いがあり、国際年次総会とASPAC年次総会が同時に行われるなどお祭り気分は最高潮に達したために、今年

の100周年はやや影祭りのような雰囲気となっているようですが、東京クラブを先頭に出来るだけお祭り気分を盛り上げていきたいと考えております。100周年は文字通り100年に一度で、次は100年後ですから、時機を逃すことなく上手く活用してクラブの基盤を一層充実させていくべきであると思います。

最後に、改めて今年度の活動の4つのキーワードを確認させていただきます。

1. Centennial (100周年記念を祝い、大いに利用しよう)
2. Growth (新しい仲間を増やそう)
3. Service Leadership Program (若者を仲間に引き入れよう)

そして

4. Community Service (社会奉仕の機会を増やそう)

これらを通して、役に立ち為になる、楽しいクラブ生活を充実させていこうではありませんか。



オレンジリボンたすきリレー

2014. 10. 26

毎年11月は児童虐待防止推進月間です。このため10月の最終日曜日には毎年子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが開催されており、昨年10月26日の日曜日に第8回を迎えました。このリレーは渋谷を出発点とする都心コースのほか、湘南コース、鎌倉・三浦・横須賀コースがあり、いずれもゴールの横浜山下公園を目指してボランティアのランナーがオレンジのたすきをつないで走ります。

東京キワニスクラブはこのイベントを後援・協賛しており、第1回から参加しています。木下功子会員には昨年に引き続き東京タワーから泉岳寺まで、たすきリレーのランナーとして参加いただきました。また、東京タワーでは何と言っても荒木会員と藤澤会員の可愛らしいお子さん二人が主役で、観光客の方々にオレンジリボンとティッシュ、チラシを配布しました。吉田会長(当時副会長)はじめ出席した会員は二人のお子さんの後方支援部隊に徹するという事務局想定シナリオが奏功し、用意したリボンなどは瞬く間に捌けました。さらに当日は尾崎会

員のポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社からスポーツ飲料を寄贈いただいております。

こうした会員、会員のご家族、会員企業の絶大なご協力をいただいて、児童虐待防止活動の重要性を訴えるというオレンジリボンたすきリレーは、今回も十分な成果を挙げることができました。東京キワニスクラブは今後も児童虐待防止活動の推進に取り組んでまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(細田久雄ボランティア活動副委員長)

オレンジリボンたすきリレーにランナーとして参加して

2014. 10. 26

10月26日、今年も走らせていただきました。今回で4回目の参加です。

担当は都心コース(渋谷ハチ公前から横浜山下公園まで)の2区の東京タワーから泉岳寺の約3キロです。東京タワーに集合したときには「ミュージシャンによる音楽リレー」の準備なども行われています。スタート地点のハチ公前からの20名位のランナーにオレンジの襷をもらい、キワニスの吉田さん・荒木さんご一家・細田さん達の声援に見送られスタートしました。リーダーの掛け声で「子ども虐待防止、宜しくお願いします!」と声をかけながらゆっくり走ります。一緒に走った方の中には1区間では物足りなく全コース走る方もいるとか。あっという間の3キロ、心地よい汗もかき楽しく走れました。



ゆっくりキロ8分位のジョギングペースなので、来年はキワニスのメンバーの方達もランナーとして一緒に参加しましょう。

これからも走ることを通じて、ボランティア活動をしていけたらと思っています。(木下功子会員)

「キワニスドールをつくる会」報告

企業や学校からボランティア活動の一環として、ドールづくりの要望が引き続き多く寄せられています。最近の活動実績・予定は次の通りですが、委員会メンバーが手分けして参加するほか、会員の奥様、有志の方々(ナーレの会、港区エンジェルスの会等)のご支援を頂いて、ボランティア活動に積極的に取り組まれている企業の皆様方やドールづくりを授業



の一環に取り組んでおられる学校の先生・生徒達とともに、楽しくドールづくりを行っております。

- 10月11日(土) 都立荏原看護専門学校(学校祭)
- 10月11日(土) 都立板橋看護専門学校(学校祭)
- 11月1日(土) 都立広尾看護専門学校(学校祭)
- 20日(木) MSD(株) 本社
- 12月9日(火) JCB(株) 本社
- 12日(金) MSD 妻沼工場
- 1月15日(木)、21日(水)、22日(木)
大妻中野中学校・高等学校

24日(土) 田園調布学園中等部・高等部
2月 4日(水) 三井住友海上火災保険(株)
20日(金) アクセンチュア(株)

なお、ドールづくりは、布切り、綿分け等の諸準備を整え、その上で各企業・学校に出かけ、綿詰め、ミシンがけ、脇とじを終え、最終的に検査(金属探知機)、記録を経て、病院等の希望者に配布されます。病気の子どもに渡るまでに非常に長く手間暇のかかった工程があり、ボランティア活動委員会としても、有志の方々や事務局の熱意溢れるご協力も得てフル稼働で対応しておりますが、今後ドールづくりのニーズがさらに高まり、底辺がますます広がっていくことが予想されますだけに、各段階における皆様方の積極的な応援を引き続きよろしく願いいたします。(片山仁志ボランティア活動委員長)



●ドールづくりにご協力いただいている港区エンジェルスの会が「みなと祭り」でドールを展示、紹介くださいました。(2014.10.12)



●キワニスドールについての感想

秋田大学を会場に開催した「病児支援を考える会 ふぁみcafé」でキワニスドールを使用しました。病児とそのきょうだい、教員、臨床心理士を目指す学生はメディカルプレイを体験し、そのひとつとして用意しました。子どものなかには既にもっている子どももあり、「名前は〇〇っていうよ」など、大切にもっていることが感じられました。特に学生は使い方を説明すると興味をもち、実際に描いて体験してもらいました。ありがとうございました。

大妻中野高校でのつくる会に参加して 2015. 1. 15

1月15日、私は、大妻中野高校での「ドールをつくる会」に参加しました。昨秋の新会員研修の際にドールの綿詰め作業を教えて頂きましたが、「ドールをつくる会」の現場は初めてでした。

大妻中野高校では、例年、1年生全員に家庭科の授業で、型取り、裁断、ミシン縫製、裏返し、アイロン掛け、綿詰め、口綴じの全工程を実習してもらっていることを知りました。今年は、3日間、1時間授業7コマで、実施されました。授業の様子は次の通りです。

東京キワニスクラブのメンバー5名と指導員2名が集合し、授業開始前に資材を配布する。家庭科の先生と生徒40人が5人ずつ8組の机に着席する。まず、高坂前ボランティア活動委員長が、作業内容をよどみなく説明をし、各組代表が布を受取り、作業が開始される。生徒は皆、初めてですから戸惑いがちですが、その様子を見て、キワニスチームが適宜、アドバイスをする。型取りが終わり、裁断をする。ミシン縫製工程に突入すると、雰囲気が一転。あちこちで、「これ、どうするのー?」「糸が針に通らない!」「ミシンが速い、スピードはどうするの?」等々、質問続出。家庭科の先生や指導員は対応で

きるが、キワニスメンバーは困惑の表情。とりわけ、初体験の私は、お手上げ状態でした。私の目の前の生徒が、実際にミシンを踏み、縫製終了した時、思わず、感動の拍手をしてしまいました。そこでタイムアウト! 殆どの生徒がミシン工程前でした。続きは翌日の授業に持越しされました。

感想を2つ。

(1) キワニスメンバーのオジサマチームは家庭科授業未習にも拘わらず、ドール作りに精通されていて、説明も堂



に入っていることに、ビックリしました。敬服します。
(2) ドール作りの全工程を2時間で実習するのは、家庭科の実習授業として、相応しい。服の縫製工場の工程

を最小化して実体験できる、完成品を手にとれることは、生徒の成功体験になると思います。

(寺崎志野広報委員長)

一般社団法人東京キワニス クラブの定時総会開催

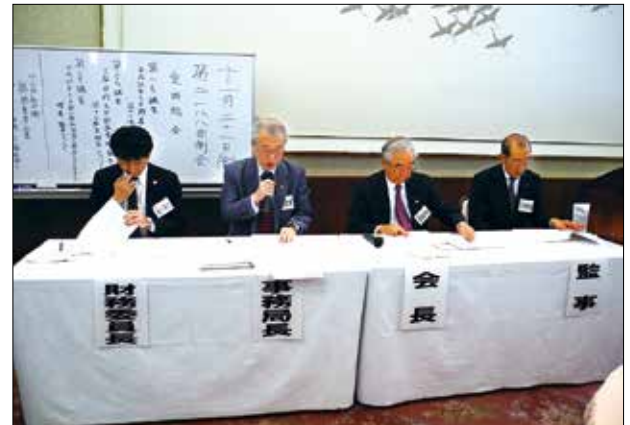
2014. 11. 21

昨年11月21日、いつもの例会々場である法曹会館二階高砂の間において、一般社団法人東京キワニスクラブの定時総会が開催されました。①この一年間の事業報告・収支決算、②公益目的支出計画の実施の監査、③平成27年9月期の理事・監事の選任、の三点を議題として諮るためのものでした。

定款19条に基づき藤原会長が議長となり開会を宣言し、広畑事務局長から会員総数229名(定款5条2項によりサテライト会員は除く)に対し出席者67、委任状の提出77で有効な議決権数は144となり、総会員の議決権の過半数に達し、総会が有効に成立していることが報告されました。

まず第1号議案「平成26年9月期事業報告書並びに決算書について」資料に基づき、広畑事務局長から一年間の事業報告、鏡川財務委員長から収支決算報告が行なわれました。続いて大澤監事から理事会その他重要な会議に出席するなど理事等の職務執行状況を把握し、監査の結果について事業報告、決算書類及び付属明細書は正しく示されていると認める旨の報告がありました。議長が第1号議案について諮り、満場一致で承認されました。

第2号議案「公益目的支出計画実施報告書に関する



監査報告書について」公益目的支出計画実施報告に関する監査を行なったところ、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認める旨、大澤監事から報告がなされました。藤原議長が第2号議案を諮ったところ満場一致で承認されました。

第3号議案「平成27年9月期一般社団法人東京キワニスクラブ理事・監事について」藤原議長から理事会推薦の「理事・監事の候補者一覧」資料に基づき説明があり、これを諮ったところ満場一致で承認されました。

以上で総会は終了し、新旧会長・事務局長から退任・新任の挨拶がそれぞれありました。また、その直後に開催された臨時理事会において、吉田理事が新会長に互選されたほか副会長・事務局長・委員長等の職務も決まり、新しい体制でクラブ運営が始まりました。

(広畑史朗前事務局長)

靖國神社「慰霊の泉」清掃会について 2014. 12. 2

12月2日(火)午後、靖國神社「慰霊の泉」のクラブ合同清掃会を実施しました。当日は、22名の多数の会員が参加くださり、神社に事前に用意して頂いた筈が



足りずに、急ぎ社務所に赴き追加調達する嬉しい悲鳴で清掃がスタートしました。小春日和の暖かく穏やかな天気にも恵まれ、銀杏の落葉で埋もれていた「泉」の参道側、裏側ともに、あっという間に見違えるようになりました。あまりにきれいになったものですから、清掃後夜のライトによる反射美を確保するために、黄葉を改めて散布し直す一幕もあったほどでした。

「慰霊の泉」は、当クラブが、1967年4月18日に明治百年を記念して靖國神社に献納した戦没者に水を捧げる母のモニュメント(注)ですが、当クラブ設立40周年記念に大改修した後、昨年6月同50周年記念に際しましても、再び大改修(光触媒塗装、黒御影石設置、銘版英語表記追加等)を行いました。今回の清掃にあたって、清楚なたたずまいを取り戻しました「慰霊の泉」を通じて靖國神社にクラブとしての鎮魂のまことを

参加者全員で改めてお納めした思いです。

(注) 本モニュメントには、ブーゲンビル島、グアム島、フィリピン各地、硫黄島、沖縄各地などの 51 個の戦跡の石の展示もしております。建設資金総額は 1,600 万円で、主として会員並びに会員所属の会

社団体からの寄付金でまかなわれたとのことです。
(設計・彫刻は井上武吉氏、建設は北野建設株式会社)

(片山仁志ボランティア活動委員長)

靖國銀杏・落葉拾いの記 2014. 12. 2

靖國神社といえば、なんといっても春の桜だが、晩秋の夕暮れ間近の陽に映える銀杏もなかなかのものである。

11 月末の「黄葉見酒(こよみさけ)まつり」は左党のみならず風流人には有名で、ライト・アップした美しい参道は賑わうという。

私たちは直後の 12 月 2 日の恒例の「清掃会」を行ったのだが、「まつり」の余熱が残る好日であった。

34 歳で戦死した父も祀られている靖國だから、世間に遠慮する必要が全くない私としては、もっと頻繁にお参りしてよいのに、回数が増えたのはキワニス・クラブに入ってからだ。しかも清掃に参じるなんてことは初めての

ことで、実に歴史的事件であった。そもそも「清掃」自体、はっきり覚えているのは小学校の教室での強制的使役だけ(家人にはゴミ扱いされてもゴミを掃いたことは皆無)だから、まことに新鮮な体験だ。慣れぬ手つきで熊手に操られ(?)、先着の方々のお蔭もあり僅か 30 分程度の作業であった。

その後年末に京都に遊んだのだが、東福寺の作務衣二人の手慣れた落葉掃きに遭遇、一念発起、次の「清掃会」では箒使いの心得を身につけて、成長著しい「掃き作務」姿を皆様にお見せするつもりである。

(佐々木信行監事)

エリミネイトの報告 (2014 年 10 月から 2015 年 1 月まで)



エリミネイト・プロジェクトにつきましては様々なご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。イベントの際の募金、ゼラー賞、ヒクソフェローシップ、インパクトドナー、に加え 3 名ものメジャーギフト参加など多くの会員にご尽力をいただいて来ました。加えて昨年 11 月に創設された 100 周年記念特別章にも既に 2 名のお申し

込みがあるなど、当クラブの活動は破傷風の母子感染絶滅を願う篤い意識に支えられて順調に推移しています。

また、活動の趣旨に賛同して下さい大妻中野中学

校・高等学校(キワニス奉仕賞受賞校)並びに東村山音楽愛好家協会(キワニス社会公益賞受賞団体)からご寄付頂いたことも特筆すべき事項としてご紹介しておきます。モデルクラブとしての目標額(\$165,000、会員一人当たり\$750)に対して、2014.12.末における達成率は 95%、今後のプレッジ(寄付の約束)を見込みますと、当初目標年次 2017 年よりも早い時期に達成可能な状況ではありますが、気を緩めることなくこれからも確実に活動を進めてまいりますので、一層のご協力をお願いいたします。

(松本一紀エリミネイト・プロジェクト・東京クラブ・コーディネーター)

ELIMINATE

maternal/neonatal tetanus



東京キワニスクラブ福井県人サテライト活動報告

2015 年 3 月 14 日、北陸新幹線が金沢まで開業いたします。5 年後の 2020 年東京オリンピックの年に福井まで延伸が決まりました。さらに敦賀・若狭を經由して大阪への新線建設も夢ではなくなり、北陸路にもようやく春の陽射しが輝いてまいりました。

2013 年 12 月に東京キワニスクラブ福井県人サテライトが発足し、福井県にキワニスクラブを開設することを第一に活動してまいりました。毎月の例会に 12 名の会員

が情報を持ち寄り、また福井の方々との集いに参加して、本会及びキワニス活動を PR してまいりました。お蔭様で福井クラブの開設に、現地福井でプロモートして下さる方が見つかり、目下その方を中心に会員勧誘の輪を拡大しております。2015 年というメモリアルの年に何とかスタートできるように活動を加速させたいと思っています。

ご承知の通り、福井県は住みやすさ・県民の幸せ度は全国第 1 位であり、福井出身の西川知事のもと教育・子

育てを重視する県政が進められ、小中学生の学力・体力は全国トップクラスに位置しております。次世代を担う子ども達を育成する・子ども達が財産であることは、まさにキワニスクラブが子ども達の幸せのために奉仕する団体

であることと相通じるものがあります。福井にキワニスクラブを開設し、福井県に貢献できるように福井県人サテライトは2年目も頑張ります。ご支援をお願い申し上げます。(藤井和雄福井県人サテライトクラブ会長)

新年互礼会 2015. 1. 9

好天に恵まれた1月9日(金)、キワニス創設100周年の新年互礼会には106名の会員が駆け付け、銀座ライオン・クラシックホールは満員の盛況と成りました。仲村渠さんの司会で始まった会は吉田会長の4つのキーワード(Centennial・Growth・SLP・Community)を柱としてご挨拶・未年生まれ6名の不揃い乍らも元気一杯の鏡開き・更に7度目の年男木村太郎さんの音頭での乾杯と続き、いつにも増して明るく・和やかなものと成りました。

「末廣純米酒」の樽が瞬間に空いた後、恒例の福引は、これ又恒例の棚澤副会長の軽妙な進行のもと19名の皆さんに「福」が届けられました。

足腰に疲れを感じ始めた7時半、中締めは吉國副会長。



ノーベル平和賞受賞者カイラシュサティアルティさん達を我が国に招くのはキワニスを措いて他に無い、と云う建設的なアイデアも提示されてお開きと成りました。

尚、当日の募金(ブタの貯金箱)額は15,862円でした。(鈴木祐二事業企画委員長)

日本地区で初めて!サークルK 芦屋誕生 2015. 1. 17

1月17日、日本で初めてサークルKが誕生するのでその認証授状与式と懇親会に参加して来ました。

芦屋クラブの元会長で現在関西北デビジョンの副ガバナーである大学講師の多田玲子さんの多大なご努力の結果、やっと国際本部からも正式に認められるSLP(Service Leadership Program)の大学生を主体とするサークルKが日本地区で誕生いたしました。将に日本のキワニス活動において記念すべき画期的な出来事といえます。

国際本部からサークルK インターナショナルの責任者であるクリストファー・マーツ氏も研修とお祝いに駆けつけてきており本部の期待も大きいものと感じた次第です。以前から日本地区では西宮クラブのユースサテライト、高松クラブの少年ボランティア活動発表会、そして東京クラブのユース・フォーラムなどが日本スタイルのSLP活動と称してきましたが、国際本部から正式に認められると

ころとはなっていないませんでした。

サークルK 芦屋も大学ベースでなく地域



社会ベースのサークルKと一工夫されたものです。関西学院大学、同志社大学、近畿大学などの学生さんたちが呼びかけに応じて16名集まり、発足に最低15名の会員を要する条件を満たし立ち上がりました。

これから地域社会のボランティア活動を積極的に行い仲間を増やして行きたいと初代会長の幸保美櫻さんから力強い抱負が述べられました。チャーターメンバーのほとんどが大学1, 2年生ということで皆さん2, 3年十分取り組む時間があり、米国他のサークルK活動を学びながら日本のサークルK活動の手本を作ってもらえるものと期待されます。

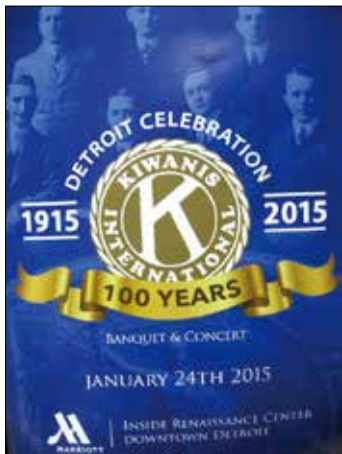
芦屋クラブの皆様もこの活動をサポートされることを力強く語っておられましたし、お祝いに駆けつけた7つのクラブのリーダーの皆様方からも自分のところでも取り組んでみたいとの声も多数上がっていました。

キワニスの誕生百周年の年に、しかも20年前の阪神淡路大震災発災の記念日に日本で初めてサークルKが誕生したことは、素晴らしいことであり、今後の発展の予感を強く与えるものでした。

わが東京クラブの数年来取り組んできた若者たちのボランティアクループの交流会であるユース・フォーラムについてもサークルK 芦屋の今後の発展を見ながら、基本的な見直しを検討するべきと感じた次第です。

(吉田浩二会長)

デトロイト 100 周年記念行事に参加して



2015年1月21日はデトロイト No.1 クラブが発足してちょうど100周年目に当たります。この日を記念して、デトロイトで盛大な祝典と国際評議会と国際理事役員会が開催されました。これに招かれたのは、国際理事と各地区ガバナーでしたが、堀井ガバナー

が事故入院で欠席の為、日本からは私一人と家内だけの参加でした。

第一日目(21日)は国際役員会の6つの委員会、第二日目(22日)は6つの委員会及び国際役員会と国際評議会の歓迎レセプション、第三日目(23日)は国際評議会と100周年記念レセプション、第四日目(24日)は、国際役員会と100周年記念晩餐会とコンサートと、三つの行事がこの4日間に開催されました。その上、私はミシガン地区のカウンセラーとして、ミシガン地区役員会への出席、ミシガン地区オフィス訪問によるガバナーを始めリーダーシップチームとの打ち合わせを行いましたので、この1週間は盛り沢山の行事となりました。



たまたま、宿泊ホテルの近くで北米国際 Auto Show が開催されており、一時は破綻したデトロイト市がまた再生している姿を見ることが出来ました。

国際評議会 は、3 - 4 年に1回の頻度で開催されま

すが、今回は、Circle K International の Kathy Le 会長と Key Club International の Maria Palazzolo 会長のスピーチが若者にふさわしく明快で素晴らしく、キワニスの将来に希望が持てる思いがしました。午後の部では Ike Altavas ASPAC 議長が ASPAC の将来への展望について述べました。

国際評議会で最も重要な議題はオンライン投票を国際年次総会に導入する案と国際キワニスへの年会費の値

上げ案の2つです。本件は、出席者の多数からの意見が述べられ、また種々のケースに対する意見の聴取がリモコン器を使って行われました。ここでは問題提起とそれに対する討議と大勢の反応が把握されました。この問題は、更に4月の役員会でも審議され、6月の年次総会に提案されて代議員総会で審議に付される運びになる予定です。

100周年記念行事は、22日、23日のレセプションが、ヘンリーフォード博物館、歴史博物館で行われ、100年前にデトロイトに於て誕生したキワニスのこれまでの歩みが見ることが出来るような展示を見ることが出来ました。また。最終日の晩餐会には1000名を超す参加者が集い100年の歴史の重さを認識して楽しくお祝いするとともに、次の100年への展望に思いを馳せて語り合いました。



国際評議会冒頭には、ジョン・バトン国際会長より、堀井ガバナーの事故の事と早期に復帰することを望むという言葉があり、胸が熱くなる思いでした。更に、バトン国際会長より1月17日に日本で初めてのSLPとしてCircle K 芦屋が誕生したことが発表され、万雷の拍手が起きました。この期間中の役員会に於ては、東京クラブのBylawsの承認と日本地区各クラブによるキワニス・ワンデー行事の実施のためのマッチング・ファンド\$5000の承認を得る事が出来ました。日本地区に対しての関心が高まった1週間でもあったと思います。

(北里光司郎国際理事)



2014年10月から2015年1月までの活動

2014年10月	2	秋季ゴルフ大会(狭山ゴルフ倶楽部)
	3	第184回例会(講師:秋山剛康氏)
	7	火曜会
	9	第67回日本酒を楽しむ会
	11	荏原看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	11	板橋看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	14	火曜会
	14	第67回国際懇話会(講師:石川一洋氏)
	16	宝塚観劇会(花組公演)
	17	第2185回例会(講師:永井英明氏)
	18	新橋演舞場10月花形歌舞伎
	21	火曜会
	26	児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー
	28	火曜会
	28	第84回囲碁愛好会
29	エリミネイトプロジェクト支援第10弾コンサート	
31	第2186回例会(講師:川村利美氏)	
2014年11月	1	広尾看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	4	火曜会
	11	火曜会
	13	第68回日本酒を楽しむ会
	14	第2187回例会(講師:横尾敬介会員)
	16	第25回落語鑑賞会
	18	火曜会
	18	千代田クラブ講演会(講師:新保幸男氏)
	20	第68回国際懇話会(講師:米澤潤一会員)
	20	MSD 本社会貢献プログラムドールをつくる会
	21	第2188回例会(定時総会)
	21	新旧役員懇親会
	25	火曜会
	25	第85回囲碁愛好会
	26	第20回ワインを楽しむ会
27	宝塚観劇会(月組公演)	

2014年12月	2	火曜会
	2	「慰霊の泉」清掃会
	5	第2189回例会(講師:奥野善彦会員)
	7	第43回文楽を楽しむ会(鑑賞教室)
	9	火曜会
	9	JCB 社会貢献プログラムドールをつくる会
	11	第69回日本酒を楽しむ会
	12	MSD 妻沼工場社会貢献プログラムドールをつくる会
	13	第86回囲碁愛好会(大会&忘年会)
	14	第43回文楽を楽しむ会
	16	火曜会
	16	エリミネイトプロジェクト支援第11弾コンサート
	19	第2190回例会(講師:南條史生氏)
	28	第九を聴く会
	2015年1月	9
10		新春大歌舞伎(歌舞伎座)
13		火曜会
15		大妻中野高校ドールをつくる会(授業)
16		第2192回例会(講師:宮田修氏)
17		サークルK 芦屋 認証状授与式&祝賀会
20		火曜会
21		大妻中野高校ドールをつくる会(授業)
22		大妻中野高校ドールをつくる会(授業)
22-27		国際キワニス役員会
23		高松クラブ設立40周年記念式典・祝賀会
24		田園調布学園ドールをつくる会
25		大相撲初場所観戦会
27		火曜会
27		第87回囲碁愛好会
28	埼玉クラブ300回記念例会	
30	第2193回例会(講師:山口廣秀氏)	

2015年2月から5月 今後の予定

2015年 2月	3	火曜会
	4	三井住友海上火災保険ドールをつくる会
	5	宝塚観劇会(宙組公演)
	6	第2194回例会(講師:永富明郎氏)
	8	第3回オペラを楽しむ会(こうもり)
	10	火曜会
	15	第44回文楽を楽しむ会
	17	火曜会
	19	第21回ワインを楽しむ会
	20	第2195回例会(講師:吉田穂波氏)
	20	アクセント 社会貢献プログラムドールをつくる会
	22	第44回文楽を楽しむ会
	24	火曜会
	24	第88回囲碁愛好会
	25	第69回国際懇話会(講師:谷野作太郎氏)
3月	1	第44回文楽を楽しむ会
	3	火曜会
	5-7	ASPAC クラークフィールド大会
	10	火曜会
	13	第2196回例会(講師:林恵子氏)
	16	海軍航空隊記念館と須藤本家(蔵元)見学会
	17	火曜会
	19	宝塚観劇会(雪組公演)
	20	第2197回例会(講師:鳥居正男氏)
	24	火曜会
24	第89回囲碁愛好会	
31	火曜会	

4月	3	第2198回例会(講師:賀藤均氏)
	7	火曜会
	8	春季ゴルフ大会(我孫子 GC)
	14	火曜会
	14	第70回国際懇話会(講師:田中浩一郎氏)
	17	第2199回例会(講師:新保幸男氏)
	21	火曜会
	23	宝塚観劇会(星組公演)
	28	火曜会
	28	第90回囲碁愛好会
5月	12	火曜会
	15	第2200回例会(講師:鳥羽美花氏)
	16	第7回キワニスドール・シンポジウム
	19	火曜会
	19	第91回囲碁愛好会
	26	火曜会
	29	第2201回例会 第65回ファミリーデー

■平成27年1月31日現在 総会員数 239名

■平成26年10月1日から平成27年1月31日までに入会された方 1名 田中正昭

キワニスドールとは

身長約 40cm で体重約 50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子どもたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気の子どもの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用実例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウムを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成 18 年 7 月 14 日に、商標登録いたしました。

エリミネイト・プロジェクトについて (破傷風から世界の母と子ども達を救おう)

国際キワニスとユニセフの協力で世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅します

2011年7月のジュネーブでの第96回国際キワニス年次総会に於いて、国際キワニスは、世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅するために2015年までに1億1千万ドルの募金活動を行うというエリミネイト・プロジェクトを正式にスタートさせました。この世界的なキャンペーン活動は、キワニスの国際ボランティアネットワークとユニセフの医療ネットワークの協力により進める歴史的なプロジェクトです。

エリミネイト・プロジェクトの基本データは次の通りです。

- 妊産婦・新生児破傷風は、スタート時は、9分に1人、毎日160人の赤ちゃんの命を奪っていたが、皆様のご支援のお蔭で、奪われる命が2014年12月現在11分に1人、毎日135人に減少した。
- 妊産婦・新生児破傷風は、1回60セント、計3回1.8米ドル(約180円)のワクチン注射で母と将来の赤ちゃんの命を守ることが出来る。



- エリミネイト・プロジェクトは、6,100万人のお母さんと赤ちゃんを助けることが出来る。

日本は破傷風撲滅の先駆者—誇りを持ってこの活動を推進しています

2015年6月のインディアナポリスでの100周年の国際年次総会で、成果を「お祝いする」ことができるよう、全員で努力を続けています。

東京キワニスクラブは、既に100Kクラブの目標を達成し、モデルクラブの目標\$165,000に対しては、実際支払総額で95%(2014年12月現在)を達成しています。東京クラブは、目標達成に向けて、引き続き努力を続けると共に、日本地区全体の目標の達成に向けて活動を続けています。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どもたちのための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Num-Kee-Wanis”(みんな一緒に集まる)に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約80ヶ国、7,500のクラブ、約21万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎、宮崎、佐賀、秋田の順に生まれ、現在31のクラブで会員は約1,800名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 吉田 浩二 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>